

## 情報通信審議会 情報通信技術分科会

### IPネットワーク設備委員会 技術検討作業班（第18回）議事録抄

#### 1 日 時

平成21年3月11日（水）14時30分～16時30分

#### 2 場 所

総務省8階 第1特別会議室

#### 3 出席者（敬称略）

##### (1) 構成員

富永昌彦（主任）、粟野友文、伊田吉宏、伊藤秀俊（代理：永塚守）、入部真一、小澤廣、中西廉、鬼丸文夫（代理：戸田善文）、加藤義文、木村孝、木原賢一、高橋英一郎、谷直樹、千村保文、寺田昭彦、福野行雄（説明員）、富樫浩行、中野尚（代理：船木滋）、林克哉、松本隆、松本檀、三膳孝通、森川誠一、柳原正樹、山口五十三、吉井裕重、吉田光男（代理：茶谷尚土）、綿貫大輔

##### (2) 事務局

田原電気通信技術システム課長、菅田同課課長補佐、荒木同課係長、沼田通信規格課課長補佐

#### 4 議 事

##### (1) ITU-TにおけるIP電話に関する標準化動向

沖電気工業株式会社より、資料作18-1に基づき、IP電話のITU-Tでの標準化動向について説明があった。

##### (2) 技術基準検討の方向性

事務局より、資料作18-2、参考資料18-1、参考資料18-2に基づき、技術基準検討の方向性について説明があった。

##### (3) 端末設備の技術的条件

情報通信ネットワーク産業協会（以下、「CIAJ」）より、資料作18-3に基づき、IP電話に関する端末設備の技術的条件案について説明があり、以下の質疑応答があった。

○ ネットワークと端末間のメッセージフォーマット、シーケンスについては、現在TTCで、ITUやIETFの動向を踏まえて標準化を進めているが、それとは別の内容に

なるのか。

- TTCの標準と異なるものではないが、製品の試験をする際に、電気通信事業者の要求事項に細かい点でばらつきがあるため、その点を明確にする必要がある。
- それはプロトコル仕様の実装規約に類するものと思われるが、ITU-TのSG11でもテスト仕様の検討等を行っているので、国際標準の議論と整合性をとり、日本独自の内容にならないようにする必要がある。
  
- CIAJの提案を事務局は今後どのように扱っていくのか、企業や団体に対し意見を募るなどの予定はあるか。
- 資料作18-6にて、必要な技術的条件等についてご提案を求める予定であり、CIAJのご提案とアンケート結果を共に勘案していきたい。
- ここで提案されている技術基準案と平成19年、20年の答申との関係について教えていただきたい。答申にあった事項についてこのように規定すべきという提案か、あるいは答申に無いものを提案したものなのか。
- 一部を除いて、基本的には答申された項目について書いている。

#### (4) ソフトウェア認証に関する調査結果

財団法人電気通信端末機器審査協会（以下、「JATE」）より、資料作18-4に基づき、ソフトウェア認証に関する調査結果について説明があり、以下の質疑応答があった。

- インターオペラビリティの確保については、HATS推進会議やJATE等の業界標準として進められているが、強制規格として規定することを提案しているのか。
- 強制とは考えていない。後段の話になると思う。
- ソフトウェアの認証を検討するにあたり、アプリケーションごとに分けて規格化するのか、通信モジュールだけに切り分けて検討するのか。
- どうアプローチすべきか、現在のところ判断できない。ソフトウェアの認証の実態を把握するために調査を行った。ここから課題を抽出して今後の議論に反映していければと思っている。
- ターゲットとしては、網に害を与えないなど最小限の要件になるのか、エンドエンドのサービスレベルまで見るのかといったスコープについてはっきりさせる必要がある。
- ご指摘のとおり、そういったスコープ等についても今後検討していく必要がある。

#### (5) 技術基準適合表示技術基準適合表示における要望

CIAJより、資料作18-5に基づき、技術基準適合表示における要望について説明があり、以下の質疑応答があった。

- 現行の法令で電子的な表示を許可しないような条項はあるのか。

→ そのような記述はない。現行の記述で電子表示が可能かについては法制局に確認を取る予定だが、法律で問題がなければ、電子表示を認める旨を省令に記述すれば可能になると考えている。このことについては、電波法の担当とも連携して検討している。

(6) アンケート

事務局より、資料作 18-6 に基づき、IP 電話端末の技術基準に関するアンケートについて説明があり、記入項目等について質疑応答があった。

(7) その他

事務局より、資料作 18-7 に基づき、今後のスケジュールについて、次回作業班については 4 月上旬を目途に別途調整する予定である旨説明があった。

【資料番号】

【配付資料】

資料作 18-1	IP 電話の I T U-T での標準化動向
資料作 18-2	技術基準検討の方向性（案）
資料作 18-3	IP 電話に関する端末設備の技術的条件（案）
資料作 18-4	ソフトウェア認証に関する調査結果
資料作 18-5	技術基準適合表示における要望
資料作 18-6	IP 電話端末の技術基準に関するアンケート
資料作 18-7	今後のスケジュール
参考資料作 18-1	ネットワークの IP 化を取り巻く動向等について
参考資料作 18-2	今後の検討課題
参考資料作 18-3	技術検討作業班構成員名簿